

## 教職課程の質の保証・向上を図る取組の推進調査研究

## 調査研究の概要

## ◆課題認識

- ・教員には、「学力の3要素」に裏打ちされた「確かな学力」とそれを基礎とした「生きる力」を育むことができる指導力を身に付けることが強く求められている。
- ・各大学の教職課程が直面する諸課題の検証と対処方針を導出する上で有為な営みである教職課程の質保証の在り方について、検討を行うことが求められている。

## ◆調査研究の目的

- ・教職課程修了時に学生が育んでおくことが望まれる汎用的な資質、能力、倫理・

態度に係る成果目標の一覧の提示。

- ・教職課程修了時に学生が育んでおくことが望まれる中学校英語、理科、社会に固有の資質、能力、倫理・態度に係る成果目標の一覧の提示。
- ・教職課程の質保証に関する基準と評価項目（評価指標）の策定。

## ◆調査研究の方法

- ・認証評価機関及び教職課程と関連のある学協会、米国及び豪州の質保証機関への訪問調査。
- ・有識者による議論。

## 調査研究の成果

## ◆認証評価機関及び教職課程と関連のある学協会への訪問調査から得られた成果

- ・本協会が平成29年度の報告書にて構想した教職課程の質保証の仕組み（内部質保証については、各教職課程自身で行うこと、外部質保証については、機関別認証評価の枠組みの中で行うが、分野別評価に関わる事柄は、当面、微細に亘って関与しないこと）について、現在の状況下において教職課程の質保証を行うことの必要性については、概ね認識を共有できた。

## ◆横浜市教育委員会への訪問調査から得られた成果

- ・質保証の実現に向けて、教職課程に第三者評価が実施されることについては、可能性があるのであれば、それには期待している。

## ◆米国CAPE等、豪州AITSL等への訪問調査から得られた成果

- ・米国においては、教師の資質能力に明確な焦点を当ててSPA基準が策定されている。
- ・豪州のアカレディテーション・システムにおいては、狭義のアカレディテーション基準に併せて、「オーストラリア教員専門職基準」がアカレディテーションの実施において大きな役割を果たしている。
- ・両国とも教員養成教育プログラムを評価するための専門分野別外部質保証機関が存在する。
- ・高等教育機関を包括的にアカレディットする機関が大学全体若しくは学位プログラムの外部質保証を行う一方で、教員養成教育の外部質保証を担う専門団体は教員養成プログラムのアカレディットを担当するなど、両者の連携・役割分担が系統だったものとして確立している。

## ◆教職課程修了時に学生が育んでおくことが望まれる成果目標の一覧の提示

- ・標記に関し、教職経験者等の協力を得て、汎用的及び中学校英語、理科、社会の資質、能力、倫理・態度に係る成果目標の一覧の例を示すことができた。

## ◆教職課程の質保証に関する基準と評価項目の策定

- ・標記に関し、平成29年度実施のアンケート調査をふまえ、教職課程の質保証に関する基準と評価項目を示すことができた。